

くまもと 広報み 12

NO.473

平成24年12月

2012.

12



そばだ〜いすき!

そばの収穫時期を向かえた11月、小坂まちづくりの会主催の「第7回そばまつり」が開かれ、地元で収穫された新そばを求めて大勢の人で賑わいました。そば粉をふんだんに使った新そばの味は格別で、会場を訪れた子どもたちも美味しそうにそばを頬張っていました。(18面に関連記事)

◆ 今月のおもな内容 ◆

太田町長就任	2
平成24年度表彰式	6
まちのわだい	16
笑顔のひろば	19
保健だより	20
くらしの情報	22
生涯学習つうしん	24



太田町政 スタート

任期満了に伴う国見町長選挙が11月6日告示され、新人の太田久雄氏（62歳）が初当選しました。

当選証書付与式は11月12日、仮庁舎（観月台文化センター）で行われ、小野光一町選挙管理委員長より太田氏に当選証書が付与されました。

27日に初登庁した太田町長は、仮庁舎玄関前で支持者や職員、約400人に拍手で迎えられ、町民に向け「町の復興、絆や思いやり、活力などをテーマに町政に臨みたい」とあいさつしました。

登庁後行われた就任式では、職員を前に「合併せずに町を守っていく。町民主役の町政を目指し、諸課題の解決に向けて取り組んでいきたい。相手を思う気持ちを持って職務に励んでほしい」と訓示しました。

太田町長の任期は、平成24年11月27日から平成28年11月26日までの4年間となります。



▲小野選挙管理委員長から当選証書を受ける太田町長



▲初登庁で職員から花束を受ける太田町長



▲初登庁で大勢の支持者を前にあいさつをする太田町長

就任あいさつ

国見町長 太田久雄

オール国見で

魅力あるまちづくり

このたび、国見町長選挙において、無投票での当選を果たすことができました。これも数多くの町民の皆様方からの絶大なご支援の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

まずは、皆様方からのご厚情をしっかりと受け止め、「魅力ある国見町の創造」のため、全力を傾注してまいりたいと考えております。

特に、これまで幾度となく訴えてまいりました「震災の復興・絆の再構築」を念頭におきながら、

まず、第1は今回の「東日本大震災の早急な復旧・復興」のため、県北流域下

水道浄化センターの汚泥問題の解決や除染の実施、放射線に関する健康管理調査などを進めてまいります。

第2に、震災との関連で今回の大震災の徹底した検証や安全安心の理念の普及啓発などを行うことにより「安全安心なまちづくり」を進めてまいります。

第3は、農業・商業・工業の振興や、町民が集える農商工一体となった「交流の場」の設置や農業の6次化の推進など「活力あるまちづくり」を進めてまいります。

第4は、子供の遊び場の設置や介護施設の適正な運用、藤田病院等の医療体制

の充実強化など「思いやりのあるまちづくり」を進めてまいります。

第5は、町民の皆様との強固な連携や「町民相談室」の設置、国、県、市町村、関係機関への提言、連携などを行うことにより「国見町を合併しない町として維持発展」させてまいりたいと考えております。

これら各種課題の解決・実現にあたっては、みなで、「オール国見」で「魅力ある国見町の創造」のために対応していく必要があります。町民の皆様方の絶大なバックアップ、支えがあつて初めて実現できるものであります。

どうぞ、皆様方の町政に対するご理解、ご協力を心からお願ひし、また、皆様方のご健勝をご祈念いたしまして、就任のあいさついたします。





退任のごあいさつ

前町長
佐藤 力

国見町長になって2期8年間を務め、去る11月26日をもって退任致しました。

これまでの町民の皆さんのご理解ご協力に衷心より感謝と御礼を申し上げます。

8年前は、町村合併が争点で町長選挙に立ち、「当面自立の国見町」を掲げて町民皆さんの支持を得て町長になりました。8年前選挙の1ヶ月前頃に、当時の富永町長さんと2人で話したことがありました。「国見町は合併しなくてもやっていけるのではないのでしょうか？」という私の問いかけに富永町長さんは、合併しなればならない二つの理由を挙げられました。

その一つは、昭和の合併以来の懸案である組合立大枝小学校が合併で解決すること、二つ目は、公立藤田病院が改築されたことと診療報酬引き下げで経営が行き詰っており、もし、合併しないで病院が倒産することでもなれば、国見町だけでは背負いきれない、ということでした。

病院の経営問題も、平成23年度の単年度決算で10年ぶりの約2億8千万円の黒字決算となり、倒産する心配はなくなりました。

以上のことにより、私が町長になった大きな二つの課題は、ほぼ解決したと考えております。

その他にも、町単独で進めてきた子育て支援と子育て環境も、子供の医療費無料化はこの秋から18歳まで県によって実施されることになりました。し、子育て環境も、来年4月からは、保育所、幼稚園、小学校、中学校まで、それぞれ一つの施設でつなぐことができるようになります。

二期目の町長選挙では、「これからの4年間は、政治・経済・自然現象が今まで経験したことのないような激動の時代になる」ということを話しておりますが、まさにその通りになり、政権交代があり、また今月には総選挙が行われます。経済も激動中であり、

自然現象も昨年の3・11の大震災、そして原発事故による放射能問題がいまだに収束の目途も立っておりません。

このようなことを具体的に予測したわけでは有りませんが、防災訓練の実施や防災行政無線の設置などは県北地方では先駆的な取り組みでありました。

庁舎の改築復旧については国からほぼ一〇〇%の補助の見通しが立ちましたが、県北浄化センターの汚泥問題をはじめ、原発事故による放射能問題の解決はこれからという状況であります。

まだまだ、課題や問題は残っておりますが、私に課せられた課題は基本的に果たしたと自分なりに納得しているところであります。

それから私にとっては勲章をもらうよりも、うれしい光栄なことがありました。それは、警察と連携しての交通安全運動ですが、国見町においては交通安全死亡事故ゼロ三千日をおの9月に達成し表彰を受けました。私が町長になって2期8年間の間に交通事故でなくなつた方が一人もいないという大変誉れな町長として任期を終えることが出来ました。今後四千人、五千日と続くことを願うものであります。

このような中で任期を終えることが出来たのは、二にも二にも町民の皆さんに支えられ協力していただいたおかげであります。改めて敬意と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

お疲れさまでした

任期満了を迎えた佐藤力町長、退任する須田善治副町長、武田正昭教育長の退任式が11月26日、観月台文化センターで行われ、職員や支持者らが3人の苦勞を称え見送りました。



▲職員から花束を受ける(左から)佐藤町長、須田副町長、武田教育長



武田正昭前教育長



須田善治前副町長



▲退任のあいさつをする(左から)佐藤町長、須田副町長、武田教育長



▲職員や支持者から見送りを受ける(左から)佐藤町長、須田副町長、武田教育長

井砂善榮氏が当選 町議会議員補欠選挙



井砂善榮氏
《66・大枝(北部)》

議員辞職に伴う国見町議会議員補欠選挙(欠員1)が11月11日行われ、新人の井砂善榮氏が初当選しました。井砂氏の任期は、残任期間の平成27年6月18日までです。

古里への思いを背負い力走

第24回ふくしま駅伝



11.18 白河⇒福島 16区間 96.5km

第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月18日、白河市をスタートし福島県庁を目指す16区間96.5kmのコースで練り広げられました。

国見町チームは参加51市町村中、総合第44位、町部では第24位の成績でした。選手の皆さんは、沿道から多くの声援を受け、古里への思いを背負い力走しました。

今年、16区間のうち8区間を中学生が走つたほか、各区とも町の代表として懸命な走りです。タスキをつなぎ、町民に勇気と感動を与えてくれました。



国見町消防団では11月18日、大木戸地区において大規模火災を想定した放水中継訓練を行いました。

訓練では、伊達地方消防組合消防本部中央消防署西分署員らの指導により、新溜池からポンプを中継し、旧大木戸小学校に放水しました。

消すまでは 出ない行かない 離れない

全国統一防火標語

秋季全国火災予防運動 放水中継訓練 防火パレード

消防協会伊達支部による防火パレードが11月9日、伊達市、国見町、桑折町を巡るコースで行われました。防火パレードは、毎年119番の日になみ11月9日に行われ、各市町消防団及び伊達地方消防組合消防本部の消防車両が隊列を組みパレードしました。本町消防団からは吉田春夫団長、鈴木耕治副団長らが参加し、火の用心を呼びかけました。



伊達市消防協会

20年連続出場で表彰

佐藤温史選手
(国見町役場)



これまでご支援いただいた皆様のおかげで20年連続出場することができました。大会当日、白河や須賀川などの走る区間まで駆けつけてくださった方の応援は大きな励みになりました。本当にありがとうございました。

中高校生の皆さんにも、継続して取り組み連続出場し、国見町チームの大きな原動力となってもらいたいと思います。



▲開会式で表彰を受ける佐藤選手

国見町表彰式



平成24年度 表彰式

平成24年度国見町表彰式は11月15日、観月台文化センターで挙行されました。町の表彰は、昭和42年以来、町の発展と町民福祉の向上に貢献され、顕著な功績のあった方々を永く顕彰するために毎年行われています。国見町表彰条例に基づき表彰審査会において審議いただいた結果、今年7名の個人の方と1団体が受賞されました。また、昨年の東日本大震災以降支援いただいた1名の方に感謝状が贈呈されました。

晴れの受賞者

特別功労表彰

特別功労表彰は、町の振興に特別な功労があった方や功労表彰を受賞された方が引き続きその職にあり、功績が顕著である方を表彰するものです。



▲受賞者を代表して謝辞を述べる斎藤洋子さん

斎藤 洋子さん

— 社会福祉 —

昭和61年に民生児童委員に委嘱されて以来、25年の永きにわたり地域福祉の向上に貢献。また、平成18年4月より、国見町民生児童委員協議会の副会長としての会の運営に携わり、高齢者や児童の見守り活動、後進の指導などに尽力されています。



功労表彰

功労表彰は、町政の発展向上などに寄与し、功績が顕著であった方や多額の金品などを町に寄附した方を表彰するものです。

村上 キミ子さん

— 交通安全 —

平成10年から現在まで15年の永きにわたり、交通対策協議会委員として交通安全活動に積極的に取り組むとともに、森江野地区交通安全母の会会長として、地域の子どもの対象とした幼児交通安全教室を継続的に開催するなど啓蒙活動に尽力されています。

佐藤 和子さん

— 社会福祉 —

平成11年7月から現在まで13年間の永きにわたり農業委員として、うち平成17年7月から7年間は農業委員長職務代理者として、本町の農業振興に貢献するとともに、農業委員会活動の充実強化に尽力されています。

村上 正勝さん

— 農業振興 —

善行表彰

善行表彰は、人命救助をした方や奉仕活動など模範となる活動、町に多額の寄附をした方を表彰するものです。



岡田 セイ子さん

— 寄附 —

本町の文化振興のため、葛西利行画伯(二科展入選5回、日本美術家連盟会員)の作品である油絵「北海道の高原風景」(100号)を寄贈されました。(最終面に掲載)

荣誉顕彰

内池 和子さん

— 文学 —

第65回福島県文学賞 詩部門で「漂流する秋」正賞を受賞されました。

※福島県文学賞は、本県文学の振興を目的に昭和23年に創設され、県民の作品発表の場として親しまれている(福島県と福島民報社が主催)。内池氏は、平成9年には福島県文学賞奨励賞を受賞されています。

生活協同組合コープふくしま

— 寄附 —

昨年3月に発生した東日本大震災からの本町の復旧・復興のため、復興応援金を寄附されました。

感謝状

佐野 英博さん

— 寄附 —

本町の復興・復旧のため、昨年の震災以降自ら営む事業の売上げの一部を継続的に町及び国見町社会福祉協議会に寄附されました。



岩盤くり抜く堀を確認

国史跡「阿津賀志山防塁」第12次発掘調査

阿津賀志山防塁の国史跡への追加指定、さらに復元整備を目指して、町教育委員会が継続して調査をしている第12次発掘調査は、10月15日より鉄道高速道間地区（石母田字国見山中地内）国道4号北側地区で行われ、11月17日には現地説明会を開催しました。説明会では、県内外から66名が参加し、調査担当職員が調査成果の解説を行いました。

今回の調査では、内・中・外土塁（土を盛って土塁の山を築いた）それぞれの積土を確認しました。

また、内堀跡を掘り下げると、岩盤（凝灰岩）をくり抜いた逆台形状の堀（箱葉研堀）が検出され、当時の様子を復元することが出来ました。内堀の規模

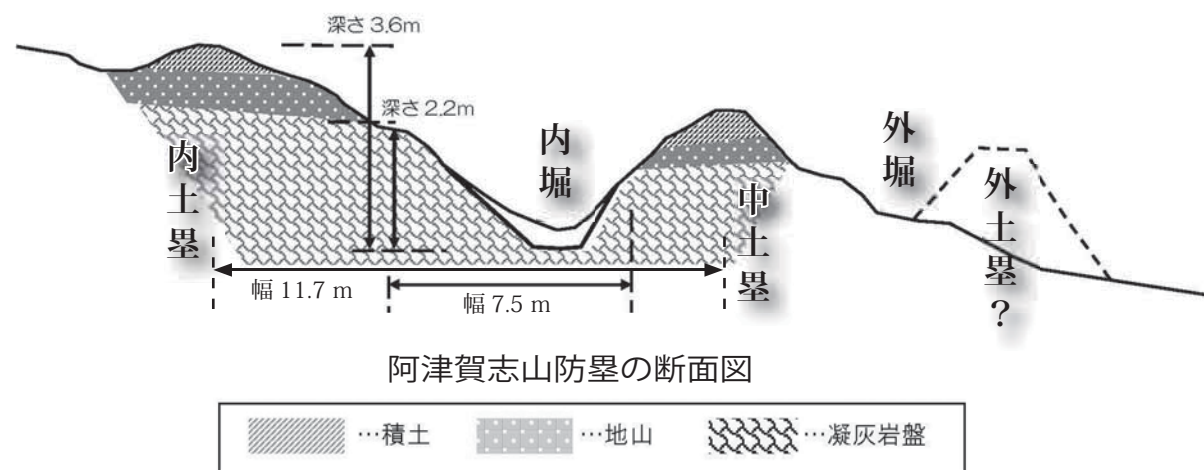
は、掘り込まれた範囲で幅7.5m、深さ2.2m。堀を挟む中・内土塁の頂上部から測ると、幅11.7m、深さ3.6mにもなります。堀が出来る前の旧地形は浅い谷地形であったと考えられますが、岩盤をこれほど掘り込んだ防御施設は全国的にも稀です。同様の工法は、少なくとも現在の国道4号付近までの約300mの範囲で確認できます。

阿津賀志山防塁は、これまでの調査により、堀が1本の箇所と2本の箇所が確認されています。さらに、自然の地形を利用した場所や、今回の岩盤を掘り込む工法をとる場所など地区により違いがあります。調査中に行われた発掘調査指導委員



▲現地説明会の様子（中央の落ち込みが内堀）

会では、入間田宣夫委員長（東北芸術工科大学教授）より「複数の集団により工事を分担する『割普請』の可能性があるのではないか」とのコメントも受けました。今後も調査を続け、防塁の全容を解明していきます。



阿津賀志山防塁の断面図

阿津賀志山防塁とは

文治5年（1189）の源頼朝による奥州合戦に備え、奥州藤原氏により築かれた全長3.2kmの長大な要塞施設です。同年8月の戦いでは主戦場となり、奥州合戦で最大規模の激戦地となりました。当時、両軍合わせ十数万の軍勢が対峙したと推定されます。

平成25年4月 くにみ幼稚園 開園に向けて

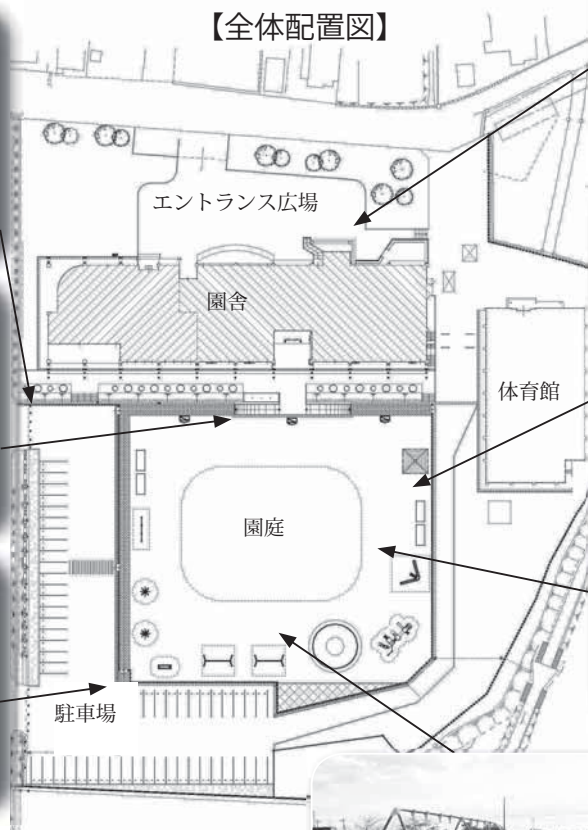
園舎改修工事の進捗 状況をお知らせします

町では、平成25年4月のくにみ幼稚園開園に向けて、旧森江野小学校校舎を幼稚園園舎とするため改修工事を進めています。

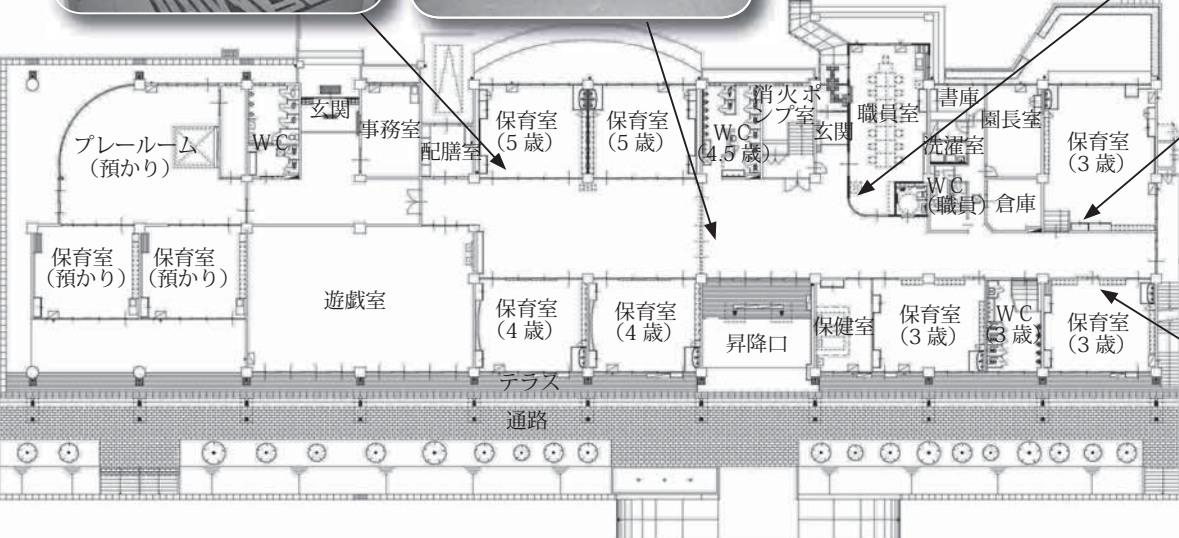
現在の工事の進捗状況は進捗率73%（11月末現在）で、2月末完成を予定しています。

◆請負業者 ㈱渡辺建設
◆問い合わせ 幼児教育課
☎585-2119

【全体配置図】



【園舎1階平面図】



いざという時にそなえて 災害時要援護者避難支援プラン を作成します

町では、災害が発生した際に、高齢者や障がいのある方など（要援護者）が地域の助けあいによって安全に避難できるようにするための避難支援プランづくりに取り組みます。

この避難支援プランは、要援護者の情報（住所氏名、緊急連絡先、かかりつけ医療機関など）を事前に町に登録し、その登録情報を自主防災組織、民生児童委員、消防団などの地域の避難支援団体と共有し、日頃から要援護者を見守り、災害発生時に迅速かつ適切に避難させることができるようにするものです。



●避難支援プランづくりのスケジュール

【ステップ1】災害時要援護者情報を登録

12月中旬ごろに該当する方に登録申請書を送りますので、調査項目を記入の上、町に返送してください。また、この際に登録情報について支援団体と共有することの同意について確認します。

【ステップ2】登録情報の詳細事項調査

登録情報について、支援団体と情報共有することに同意した方については、2月から3月にかけて民生児童委員が訪問し、要援護者の詳しい状況を聞き取りします。

【ステップ3】避難支援プランの作成

平成25年4月以降、登録情報をもとに、自主防災組織、民生児童委員、消防団など支援する立場の人が要援護者と一緒に一人ひとりの避難支援プランを作成します。避難を必要とする時、実際にどのようにして避難させるか、誰がその役割を担うかなど、話し合いによりその人に最も良いと思われる手段や方法を決め、地域の中でその情報を共有していきます。

●災害時要援護者とは

- ・在宅で生活する方で次の要件に該当する方
- ①介護保険で要介護区分3～5の方
- ②身体障がい者 身体障害者手帳1級～3級の方
- ③知的障がい者 療育手帳A・B所持の方
- ④精神障がい者 精神障害者保健福祉手帳1級所持の方
- ⑤75歳以上の一人暮らしの方
- ⑥80歳以上の高齢者のみの世帯の方
- ⑦その他、支援が必要と認められる方

東日本大震災をはじめこれまでの大きな災害において、自力で避難できない人々を助けてくれたのは、隣近所の人々という報告もあるんだって。
いざという時に頼りになるのは、地域の人々の助け合いなんだね。



くにももたん

●個人情報の取扱い

申請書に記入いただいた個人情報については、町及び避難支援団体のみで適正に管理し、要援護者の避難及び支援以外の目的には絶対に使用しません。

◆問い合わせ 保健福祉課社会福祉係 ☎585-2793

12月16日（日）は 衆議院議員総選挙の投票日です

自分の意思を政治に反映させるチャンスです。
明るい未来のためにもみんなで投票しましょう！



投票は…

- ①小選挙区（候補者名）
 - ②比例代表（政党名）
 - ③国民審査（やめさせたいと思う人の欄に×印）
- の3種類の投票をします。

投票所は…

- ①投票日に投票する方
→入場券記載の投票所へ
投票時間：午前7時から午後6時
- ②投票日に都合のつかない方
→観月台文化センターで期日前投票をしてください。
※最高裁判所裁判官国民審査は、12月9日（日）から行うことができます。
(12/5～8の間は国民審査の投票ができません。)

各地区の投票所

藤田	観月台文化センター大研修室
小坂	小坂農村総合管理センター
森江野	森江野町民センター
大木戸	大木戸ふれあいセンター
大枝	国見東部高齢者等活性化センター

入場券について

- 入場券は12月4日（公示日）に郵便で発送します。
- 有権者であることが確認できれば、入場券がお手元に届かない場合でも、期日前投票ができます。
- 紛失された場合でも、投票所で係員に申出いただければ投票できます。

期日前投票

- 期間 12月5日（水）～12月15日（土）
午前8時30分～午後8時まで
- 場所 国見町観月台文化センター
1階 ホール棟ロビー



不在者投票

- 旅行や出張等で長期間、町外に滞在しており、期日前投票も困難な場合は、滞在先市町村の不在者投票所において、不在者投票を行うことができます。
- 入院や老人ホーム等の施設に入所している方は、病院や施設において、不在者投票を行うことができます。
- 身体に重度の障害があり、身体障害者手帳や戦傷病者手帳をお持ちの方で一定の基準に当てはまる方、介護保険の被保険者証に「要介護5」と記載されている方は、「郵便投票証明書」の交付を受けて自宅で投票することができます。
※いずれの場合も、投票用紙の送付等に時間を要しますので、不在者投票の請求や問い合わせは早めをお願いいたします。

郵便転送サービスのお知らせ

郵便局に転居届を出すことによって、国見町の住所宛に送付された郵便物が、現在の避難先に転送されます。転送期間は、1年間となりますので、既に転居届を済ませている方は、転送期間を確認のうえ、期間に空白ができないよう再度転居届をしてください。

◆問い合わせ 国見町選挙管理委員会事務局 ☎585-2111

みんなて語ろう!! まちづくり懇談会

今年のメインテーマは、「震災からの復旧・復興」

1月18日から26日にかけて、町内5地区において「まちづくり懇談会」を開催します。

今年には昨年引き続き「震災からの復旧・復興」をメインテーマとして懇談会を開催します。これからの国見町のまちづくりのために、ぜひ、多くの皆さんのご意見をお聞かせください。各地区の開催日時・場所については、次のとおりとなっております。お問い合わせ 企画情報係 企画情報係 585-2927



懇談会の開催日時・場所

地区	日時	場所
大枝	1月18日(金) 午後1時30分～	国見東部高齢者等活性化センター
小坂	1月18日(金) 午後7時00分～	小坂農村総合管理センター
森江野	1月19日(土) 午後1時30分～	森江野町民センター
藤田	1月20日(日) 午後1時30分～	観月台文化センター 第一和室
大木戸	1月26日(土) 午後6時30分～	大木戸ふれあいセンター

町の奨学生募集

町では、経済的な理由で修学することが困難な方に無利子で奨学金の貸し付けをしています。奨学金には、在学中に貸付ける修学資金と入学時に貸付ける入学支度資金の二種類があります。

◆奨学資金
▼貸付額(月額)
◇高校 1万円以内
◇高専 1万5千円以内
◇大学 2万円以内

◆入学支度資金
▼貸付額
◇高校 15万円以内
◇大学 25万円以内
▼貸付方法 平成25年4月から入学支度資金として一括貸付

◆返還方法 平成25年4月から最短修学期間(卒業後6か月)後から10年以内。無利子

◆返還方法 平成25年4月から最短修学期間(卒業後6か月)後から10年以内。無利子

◆募集人員 どちらの資金も若干名
◆申込受付期間 平成25年1月4日(金)から11日(金)まで(ただし、土、日を除く)
◆申込先 学校教育課(高校と高専への進学予定者は、中学校へお申し込みください)
◆その他 申込書は学校教育課にあります。
◆問い合わせ 学校教育課 学校教育係 585-2892



除雪作業 協力のお願い

町では例年、冬期間の通勤・通学、生活道路の確保のため、町内土木業者の協力により、降雪量の多い時には早朝より除雪作業を実施しています。幹線道路を優先しつつ、町内全域にわたり町民の皆様の足の確保に努めています。

効率的な除雪のため

- 路上駐車は、除雪作業の妨げとなります。緊急時にも支障となりますので、路上駐車は絶対しないようご協力ください。
- 除雪作業で家庭の出入り口などに寄せられた雪は、それぞれ片付けてくださるようお願いいたします。多くの皆さんが通行する幹線道路を優先させ、末端部まで除雪できないこともありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ◆問い合わせ 建設課管理係 ☎ 585-2972

年末年始ごみ収集日程

年末年始のごみの収集日程は次のとおりです。
◇年末…12月28日(金)まで
◇年始…1月4日(金)から
◇1月の粗大ごみ…9日(水)と23日(水)
【伊達地方衛生処理組合清掃センターへ直接搬入する場合】
◀受付日▶
◇年末…12月30日(日)まで
◇年始…1月4日(金)から
◇受付時間…8:30～11:30 13:00～16:00 (12月30日は15:00まで)
◆問い合わせ 住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116

年末年始水道工事当番店

年末年始の水道修繕工事当番店は、次のとおりです。

月日	指定店名	電話番号
12/29(土)	根本建設(株)	585-1153
12/30(日)	(有)高城工業	529-2222
12/31(月)	(有)後藤設備	585-3103
1/1(火)	(有)斎久設備	585-2310
1/2(水)	国見ガス住宅設備(株)	585-2137
1/3(木)	根本建設(株)	585-1153

110番は県民と警察を結ぶ絆!

県内の110番は、地元の警察署ではなく、すべて福島県警察本部内にある通信指令室につながる事件・事故専用の緊急電話です。110番の通報要領は、まず何があったか。さらにその場所を教えてください。住所が分からない場合は、「コンビニ、会社等の建物名」を教えてください。あとは警察官が順を追ってお尋ねしますので、落ち着いて教えてください。
【携帯電話による110番通報時のおお願い】
○現場を離れずに通報を
～現場がわからなくなります
○運転中は必ず停止して通報を
～通話が途切れるおそれがあります
○しばらくの間は電源を切らないで
～聞き返す場合があります
警察では、1月10日を「110番の日」に指定しています

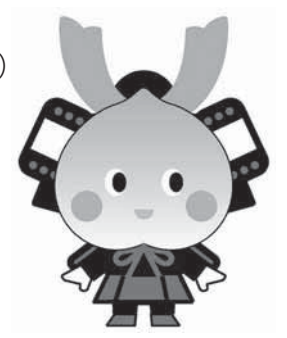
阿津賀志山 ビックツリー



国見町の冬の風物詩となりました「阿津賀志山ビックツリー事業」は今回で20回目を迎えます。実行委員会では、本年も町の補助を受け「国見町まちづくり推進協議会助成事業」として下記のとおり実施します。

また、今年はビックツリー事業20周年の記念すべき節目の年であり、町の中心となっていた役場庁舎を震災で失ったことで、少しでも町全体を元気づける意味合いを含め、役場庁舎跡地にLED電飾のツリーも同時に点灯します。みなさん、ぜひお立ち寄りください。

- 点灯式
【日時】平成24年12月23日(日)16時45分より17時00分の花火を合図に点灯します。(上野台運動公園から花火を50発打ち上げます)
【場所】今年の点灯式は役場跡地駐車場でいきます。
※16時30分から先着100名に豚汁・おにぎりを振舞います。
- 点灯期間
平成24年12月23日(日)～平成25年1月4日(金)(13日間)
- 点灯時間
午後5時～午後10時
※12月31日大晦日は午後5時～元日午前6時まで
- 主催
阿津賀志山ビックツリー実行委員会
- 問い合わせ
実行委員会事務局(国見町企画情報課) ☎ 585-2927



国見町水道事業経営審議会委員公募のお知らせ

町では水道事業の経営に
関し審議するため、平成22
年8月23日から2年間を任
期として委員を委嘱し、国
見町水道事業経営審議会
(以下、「審議会」という)を
開催してまいりました。

このたび、委員の任期が
満了したことから、改めて
委員を委嘱し、町民の皆様
からのご意見を幅広く取り
入れるために、審議会委員
の一部について下記のとおり
公募いたします。

若い世代や女性をはじめ、
様々な方々からのご応募を
お待ちしております。

【応募要領】
▼公募定員 5名以内
▼応募資格 次の①から③
までのいずれの要件にも該
当する方

【審議会の概要】
▼所掌事務等 町長の諮問
に応じ、町水道事業の経営
及び使用料金に関すること
などについて、審議する。
▼委員の構成
①公募による者(水道使用
者)「5名以内」
②識見を有する者「2名以
内」
③その他町長が必要と認め
る者「3名以内」

▼任期 任命の日より2年
間
▼開催回数 年2〜3回程
度(1回の審議時間は2時
間程度)
▼報酬 審議会に出席した
場合に日額6,500円を
支給

《提出方法》
①持参の場合 直接役場仮
庁舎上下水道課までお持ち
ください。
②郵送の場合 封筒余白に
「審議会委員公募」と朱書
きして下さい。
③メールの場合 申込書
はダウンロードした様式
(MS-Word形式)に入力し、
メールに添付して下さい。
▼公募期間 平成24年12
月3日(月)より平成24年12
月27日(木)午後5時まで
※郵送の場合は平成24年12
月27日消印のあるもので有効
▼選考方法 応募申込書に
よる書類選考
▼選考結果 平成25年1月
中に郵送により応募者全員
に通知します。
◆応募・問い合わせ
〒969-1179
国見町大字藤田字観月台15
国見町役場仮庁舎上下水道
課水道係
☎585-2997
FAX 585-2181
E-Mail suido@town.kunimi.fukushima.jp

県内自主避難者への借上げ住宅支援について

福島県では、災害救助法
の支援対象になっていない
県内自主避難者の借上げ住
宅支援を次のとおり実施し
ています。

▼対象世帯

平成23年3月11日以降、
平成24年11月1日までに自
主避難した世帯のうち、子
ども又は妊婦のいる世帯と
します。

▼対象住宅

借上げ住宅の特例措置同
様、家賃等が6万円以下(5
人以上の世帯は9万円以
下)かつ耐震性を有するこ
とが確認され、貸主や貸主
代理の方が、県の借上げ住
宅となることについて了承
したものです。

▼入居期間
平成26年3月31日まで

▼受付期間

平成24年11月15日から平
成24年12月28日まで
※ただし、県外へ自主避難
した子ども又は妊婦のいる
世帯が、県内へ戻る場合に
ついては、当面の間受付を
行いません。

▼受付窓口

避難元(従前の居住地)
の市町村に申し出をしてく
ださい。

▼家賃負担

支援開始日以降の家賃に
ついて県が負担します。

▼その他

市町村を越えて避難した
場合で、放射線量の高い場所
から低い場所への転居を対
象とします。(同一市町村に
自主避難した場合は対象外)

◆問い合わせ
建設課管理係
☎585-2972

赤十字復興支援イベントのお知らせ

日本赤十字福島県支部では、復興支援事業とし
て映画上映会とライブを開催いたします。それぞ
れ450名様を無料でご招待いたします。

【1月13日(日)映画上映会「あなたへ」開会13時】
監督：降旗康男 出演：高倉健 田中裕子 他

【1月14日(月・祝)支援ライブ「梵天(ぼんてん)」開会14時】
1999年に結成された和太鼓プロ集団。メンバー
は男女7名。彩り豊かで自由な舞台表現は、各方
面より注目されている。

◆会場 福島テルサFTホール
(福島市上町4番25号)
◆招待者数 450名
(応募方法：ハガキ又はファックスで必要事項記
載の上お申し込みください。)

①「映画上映会希望」または「支援ライブ希望」
※どちらもご希望の場合は、別々にお申し込みく
ださい。

②郵便番号・住所 ③氏名(フリガナ)
④年齢 ⑤電話番号
⑥希望人数(1名または2名)

◆応募締切 12月24日(月) ※消印有効
◆入場券の発送 12月28日に当選ハガキ(入場
券兼用)を発送します。応募多数の場合は抽選に
なります。
落選通知は致しませんのでご了承ください。

◆申込・問い合わせ 日本赤十字社福島県支部
〒960-1197 福島市永井川字北原田17
☎545-7996 FAX 545-7923

介護ベッド すき間が危ない!!

あなたの介護ベッドに危険なすき間が潜んでいる?



ご注意!

まずは製造メーカーや福祉用具買手事業者にお問合せください。
今すぐ確認と対策を!

消費者庁・厚生労働省・経済産業省
http://www.test.caa.go.jp/safety/pdf/121101kouhyou_2.pdf
消費者庁窓口:TEL 03-3507-9202



放送局：ふくしまFM 81.8MHz
番組では、皆さんからの情報をお待ちしています。
◆問い合わせ 産業振興課 ☎585-2986

工業統計調査にご協力ください

毎年、全国一斉に行われて
いる工業統計調査を、今年も
12月31日現在で実施します。
この調査は、製造業を営
む事業所を対象に、事業所
数や従業者数、製造品出荷
額などを調べるもので、地
域経済における製造活動の
状況を明らかにし、製造企
業の育成など行政施策の基
礎資料として活用します。
調査の方法は、県知事か

ら任命された調査員が、12
月中旬以降調査票の記入な
どをお願いに訪問すること
となっております。ご記入い
ただいた内容は統計法に基
づき秘密が厳守されますの
で、正確にご記入ください。
調査へのご協力をよろし
くお願いします。
◆問い合わせ
企画情報課
☎585-2967



復興への願いを込めて 石原詢子さんコンサートで応援



著名人が被災地を応援し、その魅力を再発見する「きらり！えん旅」の番組で国見町を訪れた歌手の石原詢子さんのコンサートが11月16日、観月台文化センターで開かれました。

石原さんは、リンゴ農家訪問、仮設住宅入居者との陶芸体験、新たな国見町の産品「国見バーガー」を試食するなど多くの町民とふれ合い、出会った人々への感謝と復興への願いを込めてステージに立ちました。

コンサートでは、多くの来場者を魅了する歌声を披露し、復興へ向かう町民の方々に自信と元気を届けました。

この模様は、12月20日（木）午後7時30分からNHK BSプレミアム「きらり！えん旅」で放送予定です。

秋の実りを楽しむ JAまつり開催



恒例のJAまつりが11月10日、11日の2日間、JA伊達みらい国見共選場で開催され、多くの人々にぎわいました。

会場には、農産物品評会に出品された農産物の展示販売や地元産の農産物を販売するコーナーなどのほか、大道芸人のマジックショーや保育園児による踊りなど数多くのステージイベントが繰り広げられ、会場を訪れた人々は、農産物を買って求めながら、秋のひとときを楽しんでいました。

保存会結成 30 周年を祝う 内谷春日神社太々神楽保存会



内谷春日神社太々神楽保存会結成 30 周年記念式典が11月23日、内谷春日神社で開かれました。

明治15年初奉納以来、130年の歴史と伝統を誇る国見町無形文化財内谷春日神社太々神楽は、昭和57年の保存会結成以来、30年という節目の年を迎えたことから、保存会結成30周年を祝いました。

式典には、地区の氏子ら約80人が出席し、結成30年の歩みを振り返りました。また、神楽の奉納も行われ、演目26座のうち「神招きの舞」や「二人太刀の舞」など5座を奉納し、迫力ある伝統の舞に観衆から大きな拍手が沸いていました。

デビュー作を町へ寄贈 当町出身の作家 高天彦丸さん



高天彦丸さんのデビュー作「湯治場 桃源亭」

国見町出身で作家の高天彦丸さん（本名：高橋正彦さん）より、今年9月に発行したデビュー作「湯治場 桃源亭」を町へ寄贈していただきました。

高天さんは、現在、山梨県で執筆活動をしており、今回のデビュー作は、「我々の命運を、未来を、君に託す！」というキャッチフレーズのとおり、タイムトラベラーとなった三十路男が高度管理社会の救世主になるというストーリーの痛快冒険SF活劇です。みなさんもぜひ読んでみませんか（文芸社より定価1,800円で販売中）。高天さんは、次作も発行予定とのこと、今から発行が楽しみです。

公園等の水栓交換、清掃を実施 伊達地区管工事協同組合青年部



伊達地区管工事組合青年部は11月4日、国見町内の公園等8か所の水栓金具（蛇口12個・水飲み水栓4個）の無償交換及び、公園内の清掃活動を実施しました。

この活動は青年部設立当時から奉仕活動として伊達地区内の小学校、公園等の水栓金具の無償交換を行っており、今年も国見町内の公園等の水栓交換を行いました。

青年部のみなさんは「お子様からお年寄りまで是非きれいになった公園の蛇口を安心して使ってください。何か水道に関するお困り事がありましたら地元の水道工事店までご連絡ください」と話してくださいました。

町民福祉の向上のために 特別養護老人ホーム「国見の里」地鎮祭

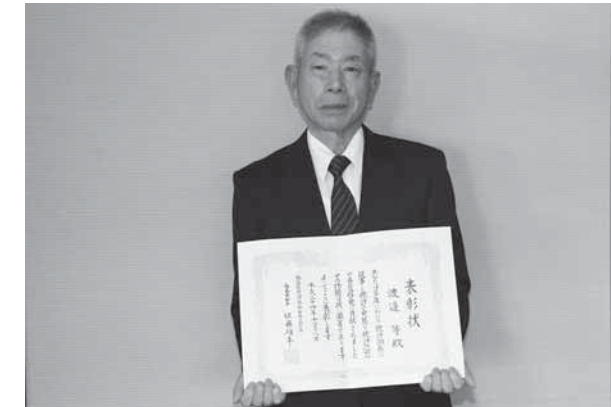


社会福祉法人厚慈会が小坂南地内に建設を予定している特別養護老人ホーム「国見の里」の地鎮祭が11月17日行われました。

「国見の里」は介護保険の要介護認定を受けた方が入所する施設で定員90名を予定し、また、短期入所やデイサービスセンターも併設される予定です。現在、敷地の造成工事が進められており、年内に建物を着工、来年4月以降の開所を予定しています。

町では、介護保険施設の基盤整備と特別養護老人ホームの入所待機者の解消、町民福祉の向上のために、「国見の里」整備事業の支援をしていくこととしています。

統計調査にご尽力 渡邊 等さんが県統計協会名誉会長表彰



県統計功労者表彰式が11月8日、福島市のサンパレス福島で開かれ、町統計調査員の渡邊 等さん（宮東）が福島県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。

統計功労者表彰は、長年にわたって統計業務に携わってきた方を表彰するもので、渡邊さんは各種統計調査活動により、統計の普及発展に貢献した功績が認められての受賞です。

受賞した渡邊さんは、国勢調査をはじめとして、住宅・土地統計調査などの各種統計調査により町政の発展にご尽力されました。

生前の功績を称えて 故 赤坂浅吉さんに死亡叙勲伝達



元町議会議員の故・赤坂浅吉さん（内谷西：今年7月に83歳で死去）に対する死亡叙勲伝達式が10月31日、赤坂さんの自宅で行われました。

伝達式では、赤坂さんの生前の功績を称え、福島県北地方振興局の阿部敏明次長から長男の正弘さん（写真右）に勲記と勲章（旭日単光章）が伝達されました。

赤坂さんは、昭和54年4月から平成11年4月まで5期20年の永きにわたり町議会議員を務め、国見町の生活基盤の整備、保健衛生の充実、教育・福祉の向上に多大な貢献をされました。

笑顔のひろば

「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

感謝の気持ちを込めて 藤田幼稚園で 勤労感謝のプレゼント



藤田幼稚園では11月22日、勤労感謝の日を前に日頃お世話になっているお巡りさんやパン屋さんなどへ感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈りました。子どもたちは、丁寧に自分たちで作ったプレゼントなどを「いつもお仕事してくださってありがとうございます」と大きな声で手渡し、感謝の気持ちを伝えました。

晩秋の国見路を力走 スポ少駅伝



第27回国見町ソフトボールスポーツ少年団駅伝競走大会が11月18日、19チームの参加により国見小学校を発着とする8区間、10kmのコースで開催されました。国見町分の入賞は次のとおりです。
【入賞】 第4位 国見A
【区間賞】 第2区 村上茉桜（国見A）

おいしくいただきました 藤田保育所カレーパーティー



藤田保育所では11月15日、七五三のお祝いにちなんでカレーパーティーを開きました。子どもたちは、真剣な表情で野菜を切ったりして自分達でカレーを作り、できたカレーをみんなでおいしくいただきました。



最後まで走り抜きました 国見小で路持久走大会



国見小学校では10月下旬～11月上旬、各学年ごとに持久走大会を開きました。応援に駆けつけた保護者の声援を受け、みんな必死にゴール目指して全力で走りました。レースの後半には、苦しそうな表情をみせる児童も見られましたが、全員最後まで走り抜くことができました。

万が一の事態に備えて 藤田幼稚園で避難訓練



藤田幼稚園では11月22日、火災を想定した避難訓練を行いました。園児たちは突然の火災発生の放送に驚いた様子を見せながらも、先生の指示に従いハンカチを口に当て、みんなでそろって避難しました。園児たちからは「本当の火事のようなだった」などの感想が聞かれ、みんな真剣に訓練に取り組み、万が一の事態に備えていました。

全日本卓球選手権大会出場 小池龍成さん



11月16日～18日に埼玉県で開かれた平成24年度全日本卓球選手権大会カデットの部に、国見小学校6年の小池龍成さんが出場しました。出場にあたり、国見町青少年育成町民会議は10月29日、奨励金を贈りました。小池さんは「全国でベスト8以上に入りランクをとれるように頑張ってきてます」と抱負を語り、大会での活躍を誓いました。

まちのわだい

小坂の新そばを堪能 小坂まちづくりの会「そばまつり」



小坂まちづくりの会（小坂和也会長）が地域おこしを目的に毎年行っている「第7回そばまつり」が11月25日、小坂農村総合管理センターで開かれました。会員らが小坂地区で収穫されたそば粉を使った手打ちそばを約500食提供し、訪れた多くの来場者が小坂の新そばの味を堪能しました。会場では、フリーアナウンサーの荒川守氏らがボランティアで小坂の民話「万蔵と馬」など昔話6話の朗読を聞かせたほか、大太鼓の披露、国見よさこいの踊りなどで会場を沸かせ、終日賑わいを見せていました。

中体連新人戦県大会出場 大会出場者へ奨励金を交付



国見町青少年育成町民会議は11月5日、福島県中学校新人大会に出場する県北中学校の生徒（個人12名、団体2組）に奨励金を贈りました。選手の皆さんは「優勝目指して力を発揮して頑張ってきます」など抱負を語り、大会での活躍を誓いました。県大会出場者は、次のとおりです。【敬称略】
【ソフトテニス】《男子》団体、個人ダブルス 寺島一輝・稲村瑛仁、佐藤竜介・鈴木将虎 《女子》団体、個人ダブルス 岡田結愛・佐藤未来、五十嵐真結・菊地真由
【柔道】《男子》個人体重別 神田尚紀、木崎良太 《女子》個人体重別 國分陽生
【剣道】《女子》個人 佐藤里穂

県高校新人ソフトテニス大会出場 岡田稚葉さん



11月3日～5日に福島市で開かれた平成24年度県高校新人体育大会ソフトテニス競技に、保原高校1年の岡田稚葉さんが出場しました。国見町青少年育成町民会議は、大会に出場した岡田さんに奨励金を贈りました。岡田さんは「今回の大会ではベストをつくすことができなかったのですが、どんな相手でも自分のプレーができるよう一生懸命練習して、来年の高体連でベストをつくして県の上位に入れるようにしたいです」と今後の抱負を話してくれました。

保健 だより

保健福祉課 保健係 ☎ 585--2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎に 注意しましょう

感染性胃腸炎は冬場に流行する代表的な感染症です。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり、ピークを迎える冬場には注意が必要です。予防の基本は、「手洗い」と調理の際には、食材を十分加熱(中心部の温度は85℃で1分以上)することです。また、感染の疑いがあるときは、早めにかかりつけ医療機関などで受診しましょう。

Q. ノロウイルスによる胃腸炎はどのようなものですか？	<p>A ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。</p> <p>ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょう。</p> <p>○患者のふん便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、</p> <p>(1) 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。</p> <p>(2) 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。</p> <p>(3) 胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。</p> <p>○特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。</p>
Q. 予防方法は？	<p>A ・食事・調理前、帰宅、トイレ、おむつ交換後などは、必ず石けんで手洗いしましょう。</p> <p>・カキなどの二枚貝は十分に加熱してから食べましょう。(食品の中心温度が85℃以上で1分間以上の加熱を行えば感染性はなくなるとされています。)</p> <p>・まな板、包丁、ふきんなどは、家庭用漂白剤で消毒するか熱湯消毒しましょう。</p> <p>・ふん便や嘔吐物、汚物が付着したタオルや衣類等は必ずビニール手袋を用いて処理しましょう。</p> <p>(汚物が飛び散る恐れがある場合は、さらにマスクを着用しましょう。)</p>


詳しくは、厚生労働省HP「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

感染症予防の基本


手洗いでウイルスを洗い流す

石けん自体には、手指についたウイルスを殺す力はありませんが、手指からウイルスをはがしやすくする効果があります。ノロウイルスに限らず、手洗いはインフルエンザやかぜなど感染症予防全般の基本です。


30秒以上かけて、ていねいに洗いましょう。




1 石けんを付けて泡立て、手のひらどうしをよくこすり合わせる




2 両手の甲をこすり洗います




3 指先、爪の間も念入りに洗う(ブラシを使うとなお良い)



4 両手の指の腹をこすり合わせ、指の間を洗う



5 忘れがちな親指も、付け根から指先まで念入りに



6 手首も忘れずに

注意 ●爪は短く切り、手洗い前には時計や指輪ははずす。

●洗った手を拭くタオルは使いまわしをせず、自分専用のものか、ペーパータオルを用意しておく。

●ふん便やおう吐物を処理(床・カーペットの掃除、おむつ交換など)した後、調理前・配膳前やトイレの後、外出から戻った時などには、必ず手洗いを。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	2月6日(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にいれて)を忘れずに!
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成24年10月生まれ) ・9か月児(平成24年4月生まれ)	2月28日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに!

*** 3歳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成21年6月21日～ 平成21年9月30日生まれの幼児	2月14日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	小坂農村総合管理 センター

【健診内容】
☆内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。
☆心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
☆健診該当者には後日健診票を郵送します。
《持参するもの》
☆母子健康手帳を忘れずに!

食育 だより

町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が出向いて、各保育所の子ども達を対象に食育教室を開催しています。11月は藤田保育所で実施いたしました。

【11/6 藤田保育所 ぞう組】
《テーマ》食事のマナーについて知ろう



【11/13 藤田保育所 きりん組】
《テーマ》おやつについて考えよう(紙芝居)



くらしの報

募集

放送大学 4月入学生

放送大学では、平成25年度第1期(4月入学)の学生を募集しています。放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代、職業の方が学んでいるほか、心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

▼出願期間 2月28日まで

お知らせ

家を取り壊した「減失届」を!

固定資産税は、毎年1月1日現在の土地や建物の所有者に課税されます。特に家を取り壊した際には、「家屋減失届」の提出が必要となります(法務局で取り壊しの登記(滅失登記)が完了している場合を除きます)。届けが無い場合には、確認ができず、翌年度も引き続き課税されることになりかねませんので、ご注意ください。

東日本大震災による場合も含め、平成24年中に家屋を取り壊した際には、印鑑を持参のうえ、年内中の届けをお願いします。

◆問い合わせ
税務課課税係
☎585-2779

◆問い合わせ
放送大学福島学習センター
☎024-921-7471

住宅の二重ローンでお困りの方へ

福島県では、東日本大震災で住宅に損害を受けた方の生活再建を支援するため、住宅の二重ローンに対する利子補給を行います。被災程度や債務残高等の条件がありますので、詳しくは県建築指導課にお問い合わせください。

◆問い合わせ
福島県建築指導課
☎521-8184

原子力災害に係る不動産取得税の軽減制度

避難区域等の見直しにより、避難指示解除準備区域に指定された区域に家屋とその敷地等をお持ちの方が、県内にそれらに代わる家屋とその敷地等を新たに取得した場合、一定の要件を満たしていれば、区域内の家屋等と同じ面積までの不動産取得税の額が軽減されます。

なお、帰宅困難区域等についても同様の制度があります。

◆問い合わせ
県北地方振興局県税部
☎523-4699

「復興支援・住宅エコポイント」の被災地の予約申込を受付中

復興支援・住宅エコポイントは、エコ住宅の新築、エコリフォームをした場合にポイントが発行され、被災地の産品、製品等と交換できる制度です。

ポイント発行申請の約1か月前までに予約申込をしてください。平成24年10月末までに着手したエコリフォームの申請期限は平成25年1月末まで。早めに予約申込・ポイント発行申請をして被災地商品等と交換しましょう。

詳しくは、住宅エコポイント事務局までお問い合わせください。

※被災地とは、東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律における「特定被災区域」とします。

◆問い合わせ
住宅エコポイント事務局
☎0570-200-121(有料)

障害者の法定雇用率が引き上げになります

すべての事業主は、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります(障害者雇用率制度)。

この法定雇用率が、平成25年4月1日から以下のようになり変ります。事業主の皆様は、ご注意ください。詳しくはお問い合わせください。

- 民間企業 1.8% ↓ 2.0%
- 国、地方公共団体等 2.1% ↓ 2.3%
- 都道府県等の教育委員会 2.0% ↓ 2.2%

◆問い合わせ
ハローワーク福島 求人・

住居・生活支援窓口のご案内

福島キャリアアップハローワークでは、就職活動中で離職による住居喪失等でお困りの方、雇用保険失業給付を受けられず生活にお困りの方に対して相談窓口を設けています。

▼利用時間 平日(月～金曜日) 10時30分～19時00分

▼場所 福島キャリアアップハローワーク(福島市曾根田MAX福島5階)

◆問い合わせ
福島キャリアアップハローワーク
☎529-6626

企画部門 雇用指導
☎534-4121

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を発行します

年末調整・確定申告まで大切に保管を! 国民年金保険料は所得税や住民税の申告で全額が社会保険料控除の対象となります。(その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が該当します。)

この社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられていますので、平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方には、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が本年10月下旬から11月上旬

戸籍の窓口

10月21日～11月20日受付分

●誕生おめでとう●

菊地 翔ちゃん(第10)
しょう
洋一さん 典子さん

●おくやみ申し上げます●

菊地 光二さん 81(第12)
松浦 貞吉さん 85(宮東)
佐藤 勉三さん 88(山崎耕谷)
高橋 謙一さん 80(板橋南)
星野 榮さん 88(光明寺)
菊地 ミヨさん 90(石母田原)
秦 和夫さん 84(本町)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成24年10月31日現在
人口 10,106人(△17)
男 4,865人(△9)
女 5,241人(△8)
世帯 3,337世帯(0)
※広報くみにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

1月の相談会

【心配ごと相談】
・開催日及び相談員
10日(木) 穴戸 加代さん
山崎 岩雄さん
24日(木) 佐藤ユキ子さん
八巻 栄子さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】
・開催日 15日(火)
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 NPO法人「ひびきの会」

【控除証明書専用ダイヤル】

◆ナビダイヤル0570-070-117 (IP電話、PHS電話からは03-6700-1130)
◆受付
平成24年11月1日～平成25年3月15日
・月曜日～金曜日 8:30～17:15
※月曜日(月曜が休日の場合は火曜)は午後7:00まで受付
・第2土曜日 9:30～16:00
※祝日、12月29日～1月3日は、利用できません

農業委員会 総会の日程

農業委員会の総会では、農地の貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

- 日時 12月20日(木) 午後1時30分
- 日時 1月21日(月) 午後1時30分
- 場所 観月台文化センター 大研修室

◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

今月の納税

町県民税(第4期)
国民健康保険税(第6期)
後期高齢者医療保険料(第5期)
介護保険料(第6期)
納期限は…
12月25日(火)です。

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- << 12月 >>
- 11日(火) 子ども移動図書館(国見小2年生)
- 13日(木) 子ども移動図書館(国見小1年生)
- 16日(日) 家庭の日
- 21日(金) 成人学級「全体学習」
- 22日(土) 子ども和楽器体験教室⑦
- 26日(水) 少年仲間づくり教室「書初め教室」
- 27日(木) 国見っ子わんぱく広場
- 29日(土)～31日(月) 休館日
- << 1月 >>
- 1日(火)～3日(木) 休館日
- 7日(月) 休館日
- 12日(土) 子ども和楽器体験教室⑧
- 13日(日) 国見町成人式
- 15日(火) 子ども移動図書館(国見小3年生)
- 17日(木) 子ども移動図書館(国見小2年生)
- 18日(金) 成人学級「1年の反省・懇親会」
- 19日(土) 国見っ子わんぱく広場

平成25年 国見町成人式

◆期日 平成25年1月13日(日)
◆場所 観月台文化センター 大研修室
◆日程
・受付…12:30～
・式典…13:30～14:00頃
・記念パーティー…14:40～15:30頃
◆その他
該当者には案内状を送付します。町外転出者で出席を希望する方は生涯学習課へお申し込みください。
◆問い合わせ 生涯学習課 ☎585-2676

第41回国見町文化祭

今年で第41回を迎えた国見町文化祭は、国見町文化団体連絡協議会(佐藤治男会長)主催により行われました。10月7日のダンス



軽やかにダンスパーティー

パーティーを皮切りに、音楽発表会が10月28日、総合展示会が11月3～4日にわたり開催されました。震災の影響により、昨年同様、会場を体育館に移しての開催となりました。

ダンスパーティーには約100人が参加、音楽発表会には16団体が出演し、歌や踊りなど日頃の活動の成果をステージで存分に披露し、観客を魅了しました。総合展示会では、文化団体連絡協議会加盟の13団体のほか、個人作品、児童生徒たちの作品など力作が並びました。また、参加団体による企画展のほか、内谷太々神楽、人形劇・読み



力作が並んだ総合展示会

「旧佐藤家住宅」一般公開を再開

県指定重要文化財「旧佐藤家住宅」は、東日本大震災で萱葺屋根の隅木の破損、土壁に亀裂と落下、建具の倒壊などの甚大な被害を受け、これまで一般公開を休止していました。今年8月から修繕工事を行い、10月末に完了したことから、11月3日から一般公開を再開しました。

そこで、町文化祭の一環として、11月3日に内谷春日神社太々神楽保存会による太々神楽の公演、翌4日には国見民話の会による民話の語りを行いました。



囲炉裏端での民話の語り

明日を担う青少年の健全育成を!

11月23日「第13回国見町青少年健全育成推進町民大会」が開催されました。

大会では町民会議表彰の後、来賓である県北地方振興局長様、福島北警察署長様よりご祝辞を賜りました。その後、「家庭の日」作品コンクールの優秀作文を3名の児童が発表し、次に県北中学校生徒会の「全国赤字大会におけるポラントイア活動発表」の映像が上映されました。そして、大木戸地区推進協議会長による大会宣言が承認されました。記念講演では、NPO法人「ビーンズふくしま」理事の中鉢博之氏より『青少年に地域社会ができること』と題し、講演をいただきました。



作文を発表する児童

青少年の健全育成には、家庭・学校・地域社会が一体となって取り組むことの重要性を再認識する大会となりました。なお、「家庭の日」作品のうち、絵画の最優秀・優秀作品は来年の11月まで青少年会館に展示されます。

くにももたんも参加!

12月1日、観月台文化センターに町内の園児と小学生約100名が集まり、一足早いクリスマス気分を満喫しました。

初めに全員がレクゲームで交流し、その後「人形劇サークルエプロン」「読み聞かせみみずく」の公演を観たり国見民話の会の皆さ

らんとクリスマスカード作り、国見っ子わんぱく広場指導員とのオーナメント作り、長縄とびなどをして楽しみました。また、5・6年生は杉崎一江先生を講師にキーキ作りに挑戦しました。最後に、参加者全員に「くにも女性教室生」手作りのキーキがプレゼントされ、楽しいひと時となりました。



クリスマスカード作りを楽しむ参加者

スポーツ

12チームが健脚を競う 町内一周駅伝大会



勢いよく上野台運動公園をスタートする出場チーム

11月4日、初冬の国見路8区間19.0kmを駆け巡る国見町内一周駅伝競走大会を開催しました。36回目を迎えた今大会は、各地区と愛好会などから計12チームが出場し健脚を競いました。

レースは、序盤から好位置につけた大枝チームが最終区で神明チームのタイム差を逆転して3位入賞を果たし、小坂Bチームも後半に上位入賞に迫る追い上げをみせるなど、白熱したレース展開となりました。

結果と出場チームは次のとおりです。

- ◆優勝：藤田B(記録1時間8分09秒)、準優勝：あつかし山防塁、第3位：大枝
- ◆区間賞：①佐藤広章(藤田B)、②桐澤楓(藤田B)、③松浦慎治(あつかし)、④佐藤里穂(神明)、⑤佐藤泉雄(藤田B)、⑥酒井透(神明)、⑦松浦貴昭(森江野)、⑧松浦輝(あつかし)
- ◆出場チーム：小坂A・同B、藤田A・同B、森江野、神明、たんがら、あつかし山防塁、大枝、観月台メンズ・同レディース、国見町役場

また、閉会式に先立ち、ふくしま駅伝出場選手の結団式を行いました。佐藤町長から選手団に町旗と新調したユニフォームが手渡され、1区を走る石川凛選手が力強く健闘を誓いました。



まちのサークル

VOL15

130年の歴史と伝統を
後世に伝える

内谷太々神楽保存会



▲内谷太々神楽保存会楽人部のみなさん

プロフィール

- ・代表者 佐藤 清二
- ・活動日 3月～11月までの毎週土曜日
- ・主な活動場所 春日神社 神楽殿
- ・会員数 氏子66名、楽人30名
(小・中学生含む)
- ・会費 3,000円/年(一戸当り)
- ・問い合わせ 佐藤 清二 ☎585-4085

明治15年の初奉納以来、今年で130年の歴史と伝統を誇る内谷春日神社の太々神楽は、戦争中に一時中止となり、昭和33年には奉納そのものも中止されました。しかし、伝統ある神楽の消滅を惜しみ、復活を望む声が強かったため、昭和57年1月に大字内谷70戸の氏子が会員になり、保存会を結成し、先輩楽人の指導を得て養成が行われ、その年の春の例大祭に久しく絶えていた神楽が復活奉納されました。保存会の主な活動は、春日神社例大祭における奉納の舞ほか、国見町文化祭や、JAまつりなど、日頃の練習の成果を発表する機会を

少しでも多くなるよう積極的に取り組んでいます。また、後継者育成のため、地元の小・中学生を対象に楽人の養成も行っています。今後、太々神楽を保存、伝承し、後世に残していくために、若い楽人の育成は不可欠なものです。しかし、近年の少子化によって、楽人の掘り起しが難しいとのこと。そこで保存会では、神楽の良さを地元会員、小・中学生に伝えながら、長期的視野に立つて、現在の楽人、特に小・中学生が少しでも長く神楽と向き合っていけるよう指導しています。

内谷太々神楽保存会の代表を務める佐藤清二さんは「練習とあらゆる発表会を通して、年代を超えた、大人と子供たちがお互いにコミュニケーションを図りながら、伝統文化に対するそれぞれの思いを神楽に込めて、地域の文化として、地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っておりますので、応援よろしく願いいたします」と話して下さいました。町の無形民俗文化財である内谷太々神楽は、今後とも後世に受け継がれていくことでしよう。

小さな天才たち

県北中学校

「奥行き表現」
引地 理彩(2年)



「友達」
佐藤 優空(1年)



「校舎」
松浦有里子(2年)



「友達」
実沢 美里(1年)

あとがき

取材で3つの「秋」を楽しみました。「読書の秋」は、高天彦丸さんの本「湯治場桃源亭」を紹介するにあたり、まずは自分からとしばらくぶりで本に触れ、本の世界に浸ることができました。「食欲の秋」は、そばまつり。ど越しがよく、あまりのおいしさについて食べるのに夢中になりました。写真でみなさんにも美味しさが伝わったかな。「スポーツの秋」は、今がシーズンの駅伝。いつも取材しながら応援に力が入ります。一斉スタートにあと少しで間に合わなかった選手の悔しい表情が印象的で、カメラ越しでもジーンとくるものがありました。必死にタスキをつなぐ光景は、いつも感動を与えてくれますね。(R)(N)

▶岡田セイ子さんから寄贈された
葛西利行画伯の油絵「北海道の高原風景」
(7面に関連記事)

